

WE 21 Japan News

WE 21ジャパンニュース



WEショップ

特集

人と人が連携し、
助け合える社会へ

福祉



環境



有機農業



協同組合



めぐり
めぐり
る

CONTENTS

特集	
人と人が連携し、助け合える社会へ	1
子どもたちに質の高い教育を	4
お知らせ	6

No. 54

WE 21ジャパンニュース

人と人が連携し、助け合える社会へ

地球規模の環境破壊、失業者や貧困層の増加・・・今、国を超えて生命に関わる多くの問題に、私たちは直面しています。

大学生を対象にした意識調査によると、「日本の将来に夢や希望が持てない」と回答した人たちは7割にも上るそうです。この先、私たちが安心して暮らしていくためには、どうしたらいいのでしょうか。自由競争を重視した経済活動とは異なる、助け合いのしくみを生かしたもう一つの経済活動として期待されているのが「連帯経済」です。その担い手として、NPO、フェアトレード、地域通貨、消費者運動、協同組合等があげられます。

埼玉県小川町の 取り組み

世界状況や経済の影響に左右されない地域社会の幸福度をアップさせようと、有機農業を中心に地域の文化を守り育みながら人・資源・文化・経済がつながるしくみが埼玉県小川町に作られています。「連帯経済」の実践例として、この町で「食」と「エネルギー」の地産地消をめざして活動するNPO「生活工房つばさ・遊」の高橋優子さんにお話を聞きました。



NPO「生活工房つばさ・遊」の高橋優子さん

高橋さんのお話

安心して住みたい

小川町は緑豊かな外秩父の山々に囲まれ、小川和紙をはじめ、酒造、建具、裏絹などの伝統産業で古くから栄えた歴史と、「小京都」と呼ばれる盆地の織り成す自然の風情にあふれた町です。人口も3万人位で人の顔と顔が見え、この町なら自分を活かし、安心して暮らしていくことができる

と感じて、終の棲家とする覚悟で移り住みました。その後、町のことをいろいろ知りたいと思い、まずは手作りのおいしい豆腐屋さんを探そうと仲間を募ってミニコミ紙「小川町まっぷ」を作り始め、創刊号は「お豆腐屋さんまっぷ」としました。

人にとって一番の幸せは、その町に自分が必要とされて安心して住むことができるこ

とだと思っています。そのためには顔と顔が見え、お互いに助け合って、励ましあっているような町にすることと、同時にそれは住む人自身で作っていかなくては意味がないと考えました。相互扶助型の市民共生ネットワークをどうやったら作れるかと取り組んだのが、人間にとって基本的な「食」と「エネルギー」の問題だったのです。

町全体を生産者に

「食」の中で出会ったのが、有機農業でした。小川町には日本の有機農業の草分けである金子美登さんの霜里農場があり、「有機の里」として有名です。金子さんの活動に触れ、地域の資源を活かして農業をして、地域の人を巻き込みながら創っていく共存共栄の地域社会をイメージしました。その時に、農地を持たない市民がどうやったら有機農業に関わってい

けるかが課題でした。

霜里農場から出る生ゴミ・糞（家畜・人）をメタン発酵させて燃料、液体肥料にしていることを知りました。自分の家の台所から出る生ゴミもそのようにできないかと、小川町環境基本計画策定町民協議会の中で提案された「生ゴミ資源化事業」に、「生活工

地域の力を活かした町づくり



農場から出る規格外の野菜を何とか活用したい、有機の里として住民みんなに小川町の有機農業のことを知って欲しいと、昨年11月に市民と農家協働のコミュニティカフェ「小川の野菜が主役のレストラン ベリカフェ」を立ち上げました。「ベリ」はおしゃべりであるように、地域の人の顔と顔が見える「たまり場」としてのしくみをこれから皆さんと創りあげていきたいと考えています。



▲ 日替わりでいろいろな味が楽しめるベリカフェ

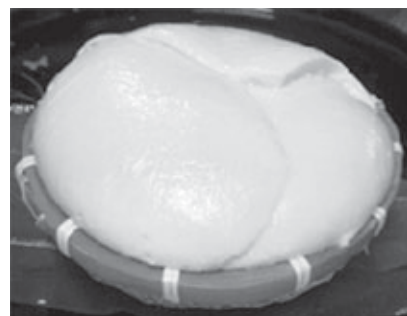


ミニコミ紙創刊号が「お豆腐屋さんマップ」であったことから、ぜひ、

金子さんが作った大豆のお豆腐が食べたいと思い、「ぴっかり豆腐」を企画しました。自分たちが欲しいものは自分たちで企画して作り、購入するというものです。地域の農業や産業を地域の商店や市民が支える、お互いがお互いを見えるのです。



食の生産過程にある燃料にも目を向けました。日本の食糧自給率は40%あまりですが、その生産のために使われる農機具の燃料は軽油であり、元は石油です。石油の自給率はごくわずか、つまり、日本の食糧自給率は砂の上に立った数字ではないかと思いました。「食」の地産地消の根底に農機具の燃料の自給はとても重要であり、そのしくみを市民発でできないかと、台所から出る廃食油をそのまま農機具の燃料にするというSVO（ストリート・ベジタブル・オイル）事業を



▲ 有機大豆でつくった「ぴっかり豆腐」

始めます。SVOは廃食油を精製してつくるVDF（ベジタブル・ディーゼル・フューエル）に比べて環境負荷が少なく、設備が簡便であるのが特徴です。SVO講習会も始まり、地域の農業を地域の人たちが支えるしくみを創りあげていきたいと考えています。



▲ SVO プロジェクト

◀ SVOで動く農機具

和紙

小川町は1300年の伝統を誇る和紙の産地です。しかし、暮らした中から和紙は消えつつあり、衰退の一途をたどっています。手漉き和紙の

技術や先達の誇りを私たちの代で失ってもいいのだろうかと思っていた時、若き後継者に出会い、応援したい、そしてこの町の「心のよりどころ、誇り」として支えていきたい

と考え、活動を始めました。七夕まつりの飾りで使う短冊を手漉き和紙にし、和紙の需要を図り、回収再生後また来年も使うという循環のしくみと、技術継承のために原料で

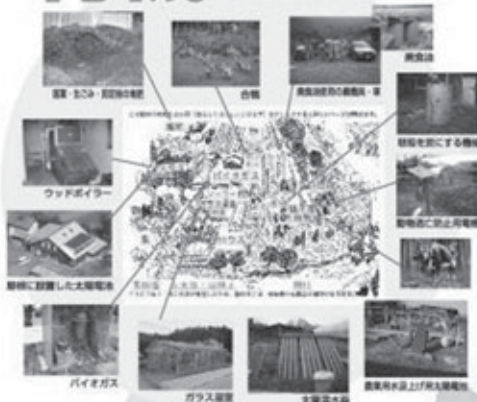
ある楮（こうぞ）栽培を市民が支援するという、和紙を通じた顔と顔の見えるしくみが、また一つできました。手漉き和紙は、何度でも再生できるという地域の底力です。

小さな環から大きな環へ

私たちは女性の暮らしの目線で、地域の人たちと力を合わせ、地域資源を活かした持続可能な有機農業を支え、そこで採れた農産物を使った酒や豆腐などを、レストランで使い、地域の循環型の経済を生み出してきました。そして、今、グローバル経済に代わる新たな経済やお金に頼らない未来の新しい価値観として、持続可能な地域循環経済の重要性に気が付いてきました。地域の資源を活かしたしくみを一つ一つ創ってきましたが、さらに「場」を通してこれらが連携して大きな環になっていくことを願っています。そして市民発の公共や経済のつながりがより大きな環になり、共存共栄の平和な幸福度の高い地域を市民自らの手で創っていきたくと思っています。

有機

食とエネルギーの循環農業
「霜里農場」見学会開催



和紙

30世紀につながる
七夕プロジェクト

竹ざおを竹炭に、知恵を愛護に—
ごみの出ない七夕飾りの提案



30世紀への「地域の力」

埼玉県小川町・のびろ・流

絆

有機野菜が結ぶ市民と農家の
日替わりシェフレストラン
「ベリカフェ つばさ・遊」



生ごみ

住民・NPO・行政の
三者協働事業に参画



食

地産産大豆・じゃが芋
を使った豆腐やコロッケ



助け合いの経済へ

経済効果を追求した結果

市場での自由競争を重視する経済政策（新自由主義）の結果、力の大きな者はますます富み、弱い者は経済的な力を失い、貧富の差は著しく拡大しています。それが国と国との間、また同じ国の中でも起こり、貧困の大きな原因にもなっています。

国際労働機関（ILO）の報告書によると、2009年の世界の失業者数は推計で2億1150万人、失業率は6.6%と過去最悪となる見込みです。特に、若年層が深刻で、前年比+1.3の13.4%、女性も+0.9の7.0%に達し、「労働市場で不利な立場に置かれている」と指摘されています。

キーワードは「連帯経済」

私たちが携帯電話やパソコンを使ったり、自動車や飛行機での移動をやめることができないように、もはや経済のグローバル化を止めることはできない

でしょう。その中で、人が安心して生きていくため、グローバル経済に対峙するもう一つの経済として注目を浴びているのが「連帯経済」です。

「連帯経済」という言葉は、日本ではあまり一般的ではありませんが、協同組合や共済組合、NPO、家庭や地域での無償労働など、互いに助け合う経済のしくみが、日本にも既にたくさんあります。農村や漁村に昔からある協同組合では、自分たちでお金を出し合い農産物の販売所や加工品の工場を作っています。また、子育てや介護、環境など自分たちが感じた課題を自分たちで解決していく非営利の市民事業も盛んになってきました。昔からあった助け合いや物々交換のように人との絆や他者への配慮などが少なくなってきた中で、その助け合いのしくみを事業化し、持続可能な社会にしていこうというのが「連帯経済」です。



WEシヨップのとり組み

WEシヨップには、多くの人たちが集っています。お買い物する人、品物を寄付する人、ボランティアする人など、地域の人たちが自分にできることを提供することによって、地域の中の人・モノ・お金が循環しています。

また、WEシヨップの活動には、食や福祉、環境など、さまざまな活動を行う人たちが関わっていることから、市民のニーズをキャッチして必要な人に必要な情報の橋渡しをする流れもできています。さらに、障がいや心の病を持

った人たちの自立支援の場にもなるなど、地域のセーフティネットとしての役割も果たしています。

さらに、講座や展示を通じて地域市民が世界とつながる場（スペースWEWE）や地域市民と外国籍市民が国を超えて交流できる場（みんなのCafe）、またフェアトレードの推進の場として、WEシヨップとは違う新たな拠点も生まれています。

WEシヨップは、継続したリユース・リサイクル事業として地域に根付いてきました。そして、その収益で海外支援事業を行い、アジアの人たち



▲ みんなde Café (WE21 ひらつか)



▲ スペースWEWE (WE21 相模原)

未来へつなぐ

とつながる地域発の「連帯経済」をつくっています。

連帯経済ですべての経済活動を行うことはできませんし、すべてを変えられるわけではありません。しかし、経済的に大きな力を持つ大企業や政府によって横暴な行為が行われた時、市民が協力し合う力があれば、それを抑える力になります。そして、市場経済のゆがみを直していけるのではないのでしょうか。

働いていた職場が倒産したり、地震や洪水などの自然災害が起きたり、病気やケガで働けなくなったりしたとき、頼れるのは国でも遠くの親戚でもなく、共に地域に暮らす人たちです。国や行政にすべてを頼るのではなく、地域で必要なしくみを市民が協力して作っていくことが、未来へつなぐ持続可能な社会をつくることになるでしょう。

子どもたちに質の高い教育を

WE 21 ジャパンでは
2004年度から、「アジア・

友だち・みらい貯金」で集
まった募金を日本国際ボラ
ンティアセンター（JVC）
を通じて、アフガニスタン
ナンガハール県シエワ郡の
女子高校「シギ女子学校」
の校舎増築・椅子寄贈に、
また、2006年からは新
しい教科書指導書を使った
教員研修に助成しています。
アフガニスタンの現状と
教育支援活動について、日
本国際ボランティアセンタ
ー（JVC）アフガニスタ
ン担当の長谷部貴俊さん、
谷山由子さんから2010
年2月に報告がありました。

■危機にさらされる アフガニスタンの暮らし

日本の約1・7倍の国土に
3000万人が暮らす多民族
国家、アフガニスタン。この
国は、2001年9月11日
のアメリカ同時多発テロ事件
から米軍主導の「テロとの戦
い」の舞台となり、今もアフ
ガニスタンに暮らす多くの人々
は、十分な食料や水、医療サ
ービスが得られず、また同時
に戦闘の被害にもさらされて
います。食料を十分に得られ
ない人々は1000万人、戦
闘や治安悪化によって自分の
家に住めなくなった国内避難
民は23万人、そして30分に
1人の割合で妊産婦が出産時
に命を落としています。

■「アジア・友だち・ みらい貯金」を通じた 教育支援

2004年に現カルザイ政
権が発足して以降、復興プロ
セスが進展し難民が帰還した
ことなどによって、学校へ通
える子どもたちの数は増加し

ています。ところが、教師に
ついては、必要な教員資格を
持っている教師が全国で22%
しかいません。将来を担う子
どもたちが学校という場を通
して成長するためにも、教師
の意欲と能力の向上を通じた
教育の質の向上が課題とされ
てきました。

小学校1年～3年生を担
当する教師を対象として、教
科書指導書を用いながら、ど
うしたら子どもたちがワクワ
クするようなおもしろい授業
ができるかを、84名の教師（女
性14名、男性70名）が

2010年2月6～17日の
12日間、グループ・ディスカ
ッションやロールプレイ、模
擬授業を通して学びました。
研修がワークショップ形式で
行われたため、講義形式の授
業に慣れている参加者は最初
意見を言うのも緊張していま
すが、だんだん顔がゆるんで
きます。教師の70%は教授法
を習ったことのない人なので、
研修だけではなく研修後も引
き続きアドバイスを行的いてい
くことが課題となっています。

■子どもたちの意見を聞きながら進める授業

アフガニスタンは未だ就学年
齢の半分が学校に通えないと
いう状態です。教育の質を向
上させるためには、教師が教
科書に書いてあることをただ
読んで生徒が答える一方通行
の授業ではなく、自然や人々
の知恵など地域にある資源を
取り入れ、生徒たちの意見を
聞きながら進めていく授業を
組み立てられるようになるこ
とが目標です。

アフガニスタンでは、小学
校低学年の子どもたちは、宗
教（イスラム教）、算数、国
語（パシュトゥー語）、ライ
フ・スキル（生きる力・道徳）
などの教科を学びます。ワク
ワクする授業を受けた子ども
たちが、元気に、夢を持って
将来のアフガニスタンを担っ
ていけるよう、「アジア・友
だち・みらい貯金」を通して
応援していきます。



▲ 男の子もがんばって勉強してるよ！

「アジア・友だち・みらい貯金」
現在集まっている金額： 294,670円（2010年3月16日現在）
ご協力ありがとうございました。

お知らせ

WE21ジャパン 通常総会のお知らせ

日時：5月22日（土）

13：00～16：00

場所：開港記念館1階1号室

●JR京浜東北線・根岸線・

市営地下鉄線「関内駅」

徒歩10分

●みなとみらい線「日本大

通り駅」徒歩1分

「フィリピン・ベンゲット復興基金」 復興支援プログラム第2弾決定！

プロジェクト名：飲むための水、食べるための水を確保する「貯水タンク」建設
支援対象地：ベンゲット州トゥブライ郡サント・ニーニョ村

2009年10月8日に村を襲った台風。山の斜面が崩れ落ち、村を土砂が覆いました。5ヶ月以上経った今も、村人たちは総出で、家、畑、道路の修復に取り組んでいます。そして今最も必要なのが水。山中の水源地が泥でふさがれ、水の供給がストップしているのです。水があれば、生活も、収入源となる畑も、再開することができます。この度の「貯水タンク建設」支援に、皆様からのあたたかいご支援をお待ちしております。

ご寄付先 みずほ銀行横浜東口支店（普通）1951360
トクヒ）ウィ21ジャパン

会員になって活動にご参加ください

（年会費）正会員

個人会員 10,000円

団体会員 50,000円

賛助会員

個人会員 6,000円

団体会員 10,000円

郵便振替

口座番号00210-9-46086

加入者名（特非）WE21ジャパン

他の金融機関からの振込先

ゆうちょ銀行 店番：029 店名：〇二九店

当座 口座番号：0046086

受け取り人名：（トクヒ）WE21ジャパン

ご寄付のお願い

＜寄付金＞

郵便振替

口座番号00270-9-67540

加入者名（特非）WE21ジャパン

他の金融機関からの振込先

ゆうちょ銀行 店番：029 店名：〇二九店

当座 口座番号：0067540

受け取り人名：（トクヒ）ウイニジュウイチジャパン

通信欄に「アジア・友だち・みらい貯金」、または「その他の寄付」とご明記ください。

＜品物寄付＞

WEショップへご持参ください。遠方の方は、WE21ジャパンまでお問合せください。

ボランティア募集

＜WEショップ＞

販売、仕分け・値付け等、WEショップでのボランティア。お近くのWEショップへお問合せください。

＜WE21ジャパン＞

事務所、エコものセンターでのボランティア、イベントボランティア。WE21ジャパンまでお問合せください。

WE21ジャパンのビジョン

私たちは、地球に住み暮らすあらゆる人々が、生きるために必要な条件や権利が公正なルールによって保障され、自律した地球市民として行動できる社会の創造をめざします。

WE21ジャパンのミッション

私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に広げます。そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできることから実践します。

寄付・会員の報告（2009年12月～2010年2月）

（敬称略）

●アジア・友だち・みらい貯金

坂本照子 佐々木玉子 新関恵子
大上 文 小倉 他 重田裕子
一之木政子 中村美代子 星加千種
牧 由喜子 今村有希 匿名
近田 WEショップいそご磯子店
坂本みどり WEショップいそご洋光台店
羽山孝子 WEショップぎま入谷店
高橋智恵子 WEショップ相模原若松店
湯本綾子 WEショップせや三ツ境店
新関あや子 WEショップ相模原南台店
芝宮清美 WEショップさかえ
上野清美 WEショップほどがや天王町店

●その他の寄付金

鈴木正子 野村知義
茂川博史 星野琴江
樋口千尋 高橋美穂
中北久美子

●フィリピン・ベンゲット復興基金

賛川恭子 WEショップかながわ反町店
遠藤 睦子 WE21ジャパンぎま
匿名 WE21ジャパンいせはら
ユニット・神奈川 WE21ジャパンいずみ
WEショップかながわ六角橋店 WE21ジャパンせや
WEショップかながわ大口店 WE21ジャパン寒川

●品物の寄付

フェリス学院大学ボランティアセンター
千葉経済大学付属高校 （株）Cheap Blue Agents
城西国際大学国際開発研究会 特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会

物品寄付総数 237件

会員数（2010年2月28日現在） 個人正会員125名 団体正会員41団体 個人賛助会員18名 団体賛助会員3団体 学生会員1名



WE21 JAPAN地域NPO法人一覧

地域NPO	住所	TEL	地域NPO	住所	TEL
WE21 JAPAN厚木	厚木市中町3-18-5	046-296-2555	WE21 JAPAN青葉	横浜市青葉区柿の木台14-14	045-978-4198
WE21 JAPAN相模原	相模原市若松4-13-3	042-744-9799	WE21 JAPANかながわ	横浜市神奈川区松本町2-18-12	045-412-6757
WE21 JAPAN海老名	海老名市中央1-14-46-102	046-235-4047	WE21 JAPANほどがや	横浜市保土ヶ谷区川辺町2-2-103	045-334-5140
WE21 JAPAN大和	大和市福田1-9-4	046-269-1343	WE21 JAPAN旭	横浜市旭区中希望が丘101-21	045-364-3277
WE21 JAPANざま	座間市入谷4-1881	046-251-3720	WE21 JAPANみどり	横浜市緑区中山町218	045-937-2656
WE21 JAPAN伊勢原	伊勢原市石田670-7	0463-96-5752	WE21 JAPANつるみ	横浜市鶴見区豊岡町13-29	045-573-3235
WE21 JAPANあやせ (準備会)	綾瀬市寺尾中1-8-3	0467-78-8178	WE21 JAPAN都筑	横浜市都筑区茅ヶ崎中央30-14	045-948-5596
WE21 JAPANひらつか	平塚市代官町11-30	0463-22-5258	WE21 JAPANこうほく	横浜市港北区大豆戸町60-1	045-547-6241
WE21 JAPANにのみや	中郡二宮町二宮1308-1	0463-71-4421	WE21 JAPANせや	横浜市瀬谷区三ツ境21	045-391-7410
WE21 JAPAN藤沢	藤沢市藤沢1102	0466-24-6002	WE21 JAPANいずみ	横浜市泉区中田東3-16-5	045-802-0095
WE21 JAPANちがさき	茅ヶ崎市共恵1-6-20	0467-88-6015	WE21 JAPANいそご	横浜市磯子区森2-1-10	045-761-3198
WE21 JAPANおだわら	小田原市栄町3-12-4	0465-23-2909	WE21 JAPAN港南	横浜市港南区港南台3-16-1	045-832-7343
WE21 JAPAN寒川	高座郡寒川町岡田351	0467-75-8141	WE21 JAPANかなざわ	横浜市金沢区泥亀1-18-8	045-788-4248
WE21 JAPANたかつ	川崎市高津区溝口3-15-8	044-829-5238	WE21 JAPANとつか	横浜市戸塚区矢部町291	045-866-0088
WE21 JAPANさいわい	川崎市幸区南幸町2-13-1	044-533-1248	WE21 JAPANさかえ	横浜市栄区桂町177-1	045-895-7009
WE21 JAPANたま	川崎市多摩区布田21-3	044-945-2427	WE21 JAPANみなみ	横浜市南区南太田3-5-4	045-715-4410
WE21 JAPANみやまえ	川崎市宮前区宮前平1-6-14	044-854-6561	WE21 JAPANよこすか	横須賀市根岸町3-15-12	046-837-1788
WE21 JAPANあさお	川崎市麻生区万福寺1-10-3-101	044-954-1348			

※WE21 JAPAN地域NPOがWEショップを運営しています。
 ※WE21 JAPAN地域NPOでは、会員、寄付金を受け付けています。

編集後記

「新しいつながり」

伝統文化、地場産業があり、有機農業からいろんなつながりができている小川町に対して、私が住んでいるのは政令指定都市になり新しくできた区。今までのネットワークを大切にしつつ、新しい文化や産業、人とのつながりを築いていけたらいいなと思います。

小川町の有機大豆で作られた豆腐、とてもおいしかったです。
 (渋谷)

WE21 JAPANニュース No.54

発行 2010年4月1日

発行責任者 郡司真弓

特定非営利活動法人WE21 JAPAN

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町11-5栄町第2ビル3階

Tel 045-440-0421 Fax 045-440-0440

E-mail : info@we21japan.org

URL : http://www.we21japan.org/